

理解度確認テスト・内分泌

氏名 _____

問題1. 犬の甲状腺機能低下症の症状について、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 体重減少が認められることが多い。
- ② 左右対称性でかゆみのない脱毛がみられる。
- ③ 高血圧になる。
- ④ 主に子犬で認められる疾患である。
- ⑤ ケトアシドーシスの状態になることがある。

問題2. 副腎皮質機能亢進症について、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 合併症として白内障がある。
- ② 体重の減少が認められることが多い。
- ③ 症状として多飲多尿がみられることが多い。
- ④ 低血糖発作が認められることがある。
- ⑤ 治療としてビタミンDの投与が行われる。

問題3. 糖尿病について、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 左右対称性の脱毛がみられる。
- ② 非再生性の貧血がみられることがある。
- ③ レギュラーインスリンは、長時間作用し、自宅での管理に適している。
- ④ 合併症として緑内障を発症しやすい。
- ⑤ 食事療法も重要となる。

問題4. 副腎皮質の疾患について、誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 副腎皮質機能低下症よりも、亢進症の方が多くみられる。
- ② 副腎皮質機能亢進症では治療にインスリンを剤を用いる。
- ③ 副腎皮質機能亢進症および低下症の双方に多渴がみられる。
- ④ 副腎皮質機能低下症をアジソン病ともいわれる。
- ⑤ 副腎皮質機能亢進症だけではなく、低下症でも一生涯の治療が必要となる。

問題5. 糖尿病の合併症として、誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 慢性腎不全
- ② ケトアシドーシス
- ③ 白内障
- ④ 医原性低血糖
- ⑤ 肝性脳症

理解度確認テスト・内分泌 正答

問題1. 犬の甲状腺機能低下症の症状について、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 体重減少が認められることが多い。
- ② 左右対称性でかゆみのない脱毛がみられる。
- ③ 高血圧になる。
- ④ 主に子犬で認められる疾患である。
- ⑤ ケトアシドーシスの状態になることがある。

問題2. 副腎皮質機能亢進症について、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 合併症として白内障がある。
- ② 体重の減少が認められることが多い。
- ③ 症状として多飲多尿がみられることが多い。
- ④ 低血糖発作が認められることがある。
- ⑤ 治療としてビタミンDの投与が行われる。

問題3. 糖尿病について、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 左右対称性の脱毛がみられる。
- ② 非再生性の貧血がみられることがある。
- ③ レギュラーインスリンは、長時間作用し、自宅での管理に適している。
- ④ 合併症として緑内障を発症しやすい。
- ⑤ 食事療法も重要となる。

問題4. 副腎皮質の疾患について、誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 副腎皮質機能低下症よりも、亢進症の方が多くみられる。
- ② 副腎皮質機能亢進症では治療にインスリンを剤を用いる。
- ③ 副腎皮質機能亢進症および低下症の双方に多渴がみられる。
- ④ 副腎皮質機能低下症をアジソン病ともいわれる。
- ⑤ 副腎皮質機能亢進症だけではなく、低下症でも一生涯の治療が必要となる。

問題5. 糖尿病の合併症として、誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 慢性腎不全
- ② ケトアシドーシス
- ③ 白内障
- ④ 医源性低血糖
- ⑤ 肝性脳症